

令和6年4月18日

長野県知事 様

## 令和6年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和6年度から令和7年度	
会社名	南信環境管理センター株式会社	
住所	〒396-0001 長野県伊那市福島439番地	
代表者名	代表取締役 石黒 敦	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	環境事業部	
担当者名	山崎幹明	
連絡先	TEL	0265-79-1871
	FAX	0265-79-1873
	電子メールアドレス	yamazaki@nanshin-kkc.co.jp
ホームページアドレス	'http://www.nanshin-kkc.co.jp/	

## 1 産業廃棄物3R実践方針

- ① 産業廃棄物の適正処理を目標とする。
- ② 鉄屑、廃プラ、廃液（塩化銀）は100%リサイクルする。
- ③ ガラスくずは、可能な限り、リユースを行う。
- ④ ファイル、ティッシュペーパー、コピー用紙は100%リサイクル品を使用する。

## 2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	6年度目標値	5年度実績値	4年度実績値	3年度実績値
総排出量の推移 Kg/売上高(百万円)	12.4kg/売上高 (百万円)	12.4kg/売上高 (百万円)	17.5kg/売上高 (百万円)	5.3kg/売上高 (百万円)
リサイクル率の推移 (%)	75%	70%	93.3%	99.5%

売上高の推移 (円)	212,625,000	202,500,000	209,000,000	171,483,626
---------------	-------------	-------------	-------------	-------------

### 3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

#### ① 産業廃棄物処理責任者等

環境事業部長	山崎幹明	3R実践計画責任者
環境事業部次長	遠藤利浩	3R実践 事務局
環境調査部員	小嶋賢二	産業廃棄物処理責任者

#### ② 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開

- ・当社ホームページ及び長野県ホームページで公開する。

#### ⑤ 処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画

- ・鉄屑：南箕輪村公共下水道マンホールポンプ場のポンプ交換時に廃棄ポンプを直接中間処理業者に持ち込むので、その時に処理状況を確認する。
- ・小口引抜活性炭：辰野町水処理センターから出る引抜活性炭は会社にストックしておき、まとまった時に最終処分業者にリサイクルしてもらうので、その時に現地確認を行う。

#### ③ 従業員教育（研修）計画

- ・現場安全会議にて廃棄物処分の徹底について教育する。

#### ④ リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）

- ・材料発注段階において、正確な数量把握を行い、破材が少なくなるような発注に心がける。
- ・端材については、他の現場で再使用する。
- ・環境測定用試薬瓶等のガラス排出量が当社排出量の中で一番多いが、そのリサイクル（リユース）率は2%に留まっているので、リサイクル率を高めるための工夫が課題である。

#### ⑥ 処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底

- ・委託処理した廃棄物が不適正処理されたことが判明した場合には、直ちに関係機関に連絡を行うと共に、状況把握を行い、関係機関と連絡を密にし、原因の究明についての協力体制をとる。
- ・他の不適正処理についても、日頃から社員に注意喚起して、不適正と認められる処理現場を発見した場合には、関係機関に情報提供を行う。

#### ⑦ 独自に取り組む事項

- ・電子マニフェストは今後も、継続していく。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明(処理施設を有する場合)
- ・処理を委託する処理業者(施設)の現地確認計画
- ・従業員教育(研修)計画
- ・リサイクル促進に向けた取組(計画段階、実施段階での工夫など)
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制

・自社処理廃棄物の管理方法(自社処理を行っている場合)

・独自に取り組む事項

代替素材への転換(化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと)、環境認証制度等の取得(環境 ISO 14001、エコアクション 21 等)、電子マニフェスト(公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター)の導入等。

#### 4 リサイクル製品使用率またはリサイクル率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品(材料)使用量／全体材料使用量(%)

製品(材料)種別	当年度目標値	過年度実績値		
	6年度目標値	5年度実績値	4年度実績値	3年度実績値
ファイル	100%	100%	100%	100%
ティッシュペーパー	100%	100%	100%	100%
コピー用紙	100%	100%	100%	100%
金属屑	100%	100%	100%	100%
廃プラ	100%	100%	65%	60%
廃液(硝酸銀)	100%	-	100%	-
ガラス	2%	2%	2%	2%
引抜活性炭	100%	100%	-	-
全体	75%	70%	93.3%	99.5%